

平成22年3月吉日

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科 教員公募

1. 職名および人数： 教授または准教授 1名
2. 教育研究分野： エコロジー工学分野
3. 採用予定年月日： 平成22年9月1日以降できるだけ早い時期

4. 学科の特徴

本学科では、環境問題の発生源としての人間活動とその背景、および問題となる現象のメカニズムについて幅広く理解できること、フィールドワークにより観測された様々な事象を理解・解釈し、「共生」の観点から再構築できること、ならびに専門分野の枠にとらわれず、環境諸問題の解決に向けた柔軟な思考を有することのできる人材を育成するため、人間の諸活動から生じる環境問題について工学的な視点から研究を進めてきた「エコロジー工学」と、生物および自然のメカニズムや自然と人との関わり合いについて理学・農学的な視点から研究を進めてきた「生態環境マネジメント」の両分野からなる体系的な教育課程を編成している。

5. 必要とされる能力・専門分野

本公募においては両分野に造詣が深く、分野横断的な幅広い知識を元に、高い見識と広い視野を持って教育に当たることのできる人材を求めており、学生との密なコミュニケーションを通じた授業改善や教学上の活動など、教育の質の向上に強い意欲があることが望ましい。また、入学者確保に向けた高大連携、入学前教育、各種入試業務などについて積極的に関与できる能力と意欲が必要である。

研究面では、廃棄物適正管理および資源循環システムの構築に向けた工学的な検討に際して、公衆衛生、温室効果ガス、エネルギー、生物多様性などの付随する諸問題を包括的に解決することを念頭に置いた上で、持続可能な社会システム構築を指向した研究についての指導能力を有することが望まれる。さらに、本学では地域連携の観点を重視しており、民間企業との共同研究開発に携わった経験を重要視している。本学における教育および研究を実践する上で、実際の環境政策への貢献や行政支援が成果として求められることから、行政職での職務経験あるいは行政対応型研究に携わった経験があることが望ましい。

6. 担当授業科目（予定）

学部共通科目（科学技術英語）、学科固有講義科目（環境政策論、廃棄物工学、環境微生物学）、学科固有実験実習科目（環境工学基礎実習、環境分析化学実験、都市環境施設実験 B）、当該分野に関わる大学院授業科目

7. 応募条件

次に掲げる条件に該当する方

- (1) 博士又は Ph.D.の学位を有すること
- (2) 上記の専門分野を含めた大学教育および学生指導に意欲的であること
- (3) 複数の異なる学術雑誌に査読付き論文が掲載されていること

8. 応募締切日： 平成 22 年 4 月 12 日(月)必着

9. 応募書類

- (1) 履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等、写真貼付)
- (2) 研究業績リスト(著書、査読のある学会論文誌や学術雑誌に掲載または掲載決定済の論文、国際会議での発表または発表決定済の論文、その他の報文、特許等に分類し、著者名を記載すること)
- (3) 教育業績リスト(担当授業、授業改善(FD)に関する活動および資金獲得状況について実施校および期間を記載すること)
- (4) 主要論文の別刷(5 編程度、コピー可)
- (5) 招待講演のリスト
- (6) 過去10年間の科学研究費補助金採択状況および他の競争的研究資金獲得実績
- (7) これまでの研究概要および今後の教育研究に関する抱負(2000 字程度)
- (8) 推薦書2通、自薦の場合は本人について照会可能な2名の方の氏名と連絡先

10. 応募書類提出先

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科 主任 岸本直之

TEL 077-544-7107, FAX 077-544-7130, E-mail: naoyuki@rins.ryukoku.ac.jp

(公募案内 HP: <http://www.est.ryukoku.ac.jp/news/news.html>)

※応募書類は、封筒表に「教員応募書類」と朱書し、(簡易)書留にてご送付下さい。

11. その他

- (1) 選考の段階で面接を実施する場合があります。その際の旅費等をご自身で負担願います。
- (2) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。
- (3) 応募書類は返却いたしません。

男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を歓迎します。